

R6:全日本学生バドミントン連盟常任委員会参加者・出欠確認

役職	氏名	出欠
1 全日顧問	関根 義雄	○
2 全日会長	北見 正伸	○
3 全日副会長、総務部長(関東会長)	平野 泰宏	○
4 全日競技部長	大束 忠司	○
5 全日競技部選手強化	古財 和輝	○
6 全日総務部渉外	有吉 晃平	○
7 全日競技部選手分析	渡辺 英次	○
8 全日総務部広報(九州会長)	井上 翼	○
9 全日副会長(関西会長)	宮崎 克己	○
10 常任委員(北海道会長)	土江田 真一	×
11 常任委員(東北会長)	千葉 陽子	○
12 常任委員(中部会長)	佐藤 荘二	○
13 中四国会長	北脇 康治	○
14 全日委員長	福田 隆	○
15 全日会計	林 忠男	○
16 全日会計	青木 涼一郎	○
17 常任委員(北海道委員長/全日副委員長)	白井 紫音	○
18 常任委員(東北委員長)	小野寺 陸	○
19 常任委員(関東委員長)	山家 一紗	○
20 常任委員(中部委員長/全日副委員長)	大口 尚真	○
21 常任委員(関西委員長)	竹森 美優	○
22 常任委員(中四国委員長代理)	中尾 佳祐	○
23 常任委員(九州委員長)	松谷 翔太	○
24 全日監事	喜多 努	○

出席確認 24名中23名出席：定足数を充足

令和 6 年 10 月 14 日

第 1 回常任委員会議事録

司会：福田全日本学連委員長

議長：北見全日本学連会長

書記：臼井全日本学連副委員長

竹森関西学連委員長

記

1 実施形態 対面実施

2 日時 令和 6 年 10 月 14 日(月)9:30～10:20

試合開始 1 時間前(試合開始は 10:30)

3 会場 島津アリーナ 会議室

f

4 議題 「報告事項」

(1) 令和 6 年度各種大会内容：組み合わせ基準（ポイントランキング制）の実施

【報告】

- ・現在のシステムは今年度導入されたポイントランキング制にて順位を確定。

原則順位が確定次第変更はしない。

ポイントランキング制を導入した理由として個人の強さを重視。そのため、大学や地区バランス等は考慮していない。

【検討事項】

- ・同ポイント内で抽選後の地区バランス等を考慮し、変更することが可能か
- ・組み合わせ基準のポイントの配点数は変更が必要か
- ・上記 2 点について、全日本学連競技部を中心に各地区の意見を反映し、2 月の総会までに今年度の結論として提示できるよう検討する。

(2) 令和 6 年度全日本ミックス：シード枠変更（16→32）

東西インカレ：シード枠変更（32→64）

(3) 加盟登録書類（大学名簿・登録名簿・加盟登録費納入表）の改訂

(4) 令和 7 年度東西インカレ大会内容（令和 8 年度のプレ大会と定義している）

(5) 選手強化：強化合宿（全日本総合・中堅選手育成強化）

- ・昨年度のミックスインカレの開催された時期に合わせ強化合宿を行った。
- ・北海道から開催時期についての検討の意見が提出され、各地区に開催日程の確認を行い、他6地区問題がないという回答。基本的には日程の変更しない。
- ・ただし、開催日程や内容についての開示を早めること。
- ・将来的に、強化合宿の回数を増やすことや、東西合同での開催、海外遠征等も検討していきたい。

(6) スポンサー

- ・上記の強化合宿について回数や海外遠征を実施すると、経済面での検討が必要になる。
- ・多くのスポンサーを集め、多方面から大学生の頑張りを発信できるよう集める。

(7) インカレ映像配信

- ・選手権大会は3社（スマッシュアンドネット・ユニバス・KBS 京都放送）15日16日

(8) 1種大会：要項・競技規則（競技運営）・式次第・役員名簿等の記載内容統一雛型

(9) 学生強化チーム編成（今年度は「全日本総合参加選手」「来年度ユニバーシアード選考選手」を対象）

(10) スポンサー獲得⇒スポンサー選定

(11) インカレ経費：予算再配分

- ・大会後7種類のファイルを平野総務部長に送信。平野総務部長から日バに提出(申請)し、補助金（選手権大会：150万円、大学対抗戦：50万円）が全日本学連の口座に振り込まれることになる。現状、全日本学連が立て替えて主管学連（選手権：関西、大学対抗戦：関東）に送金済みとなっている。

(12) インカレカップ：新調（男子団体）・大会名銘盤変更・優勝旗短冊新調（新大会名）

(13) ユニバス参加：ユニバスカップ対象大会・動画配信・医療従事者費用補助

- ・選手権大会各種目1位2位が内定（計6名）。補欠が6名
- ・補欠については選手権大会B8の中から選考する。11月下旬から12月上旬で選考する。
- ・12月21日から24日にワールドユニバスにかかる3位決定戦・合宿
- ・混合ダブルスの選考の仕方の検討が必要。

- (14) 日バ対応：プロジェクトチーム（組織改革・規約改正；法人化）
- (15) 加盟・登録数対策：短期大学・省庁立大学校
- (16) ポイント制導入に伴う申込締切&組み合わせ会議&大会の日程変更
- (17) その他

○審判について

今年度全日本選手権大会については今まで通り第三者（3 級公認審判員有資格者）が審判（主審・線審）を行うものとしているが、準備が間に合えば11月の全日本大学対抗戦からは審判（主審・線審）を敗者（相互）審判制とする。ただし、準決勝以降の主審・サービスジャッジは2級以上の公認審判員有資格者である事。来年度から要項に記載が必要。

○棄権の取り扱いについて

【検討事項】

- ・今年度の東西インカレで大会会期中での棄権届けの扱いについて検討事項があった。
- ・レフェリー曰く、全日本学連がどこまで赤本に従うのか不明瞭なため、棄権の扱いに混乱が生じた。今後は全日本学連内での判断基準を明確にしていく。

○インカレ出場権利が確約されている選手について東西インカレで手を抜く選手が見られる。そのため今後東西インカレの結果を用いたインカレシード位置を競技部中心に決めていく。

○ベンチ・コーチ席について

大会運営規程 第4章第17条及び第18条に記載の通りとする（（公財）日本バドミントン協会会員登録者を資格とする）。

上記内容は総会（2024.2.25.）において今年度施行予定で議決された案件（1・5・6・7・10・11・13・14・15）と関連事項（3・4・8・9・12・16）を含めて、その後web総会で議決された案件（2・11）や運営本部会議における総会提出原案です。

以上の各内容は常任委員会前に資料（論点と確認：「R6 第5回運営本部会議：8月23日（月）20：00～」）として常任委員各位に配信します。

論点と確認：「R6 第5回運営本部会議：8月23日（月）20：00～」

- (9) 令和6年度各種大会内容：組み合わせ基準（ポイントランキング制）の実施

完了&進行中

- 全日本選手権大会（個人戦）・東西インカレ（個人戦）の組み合わせ基準が「日本学生ポイントランキング表」を基に変更された。
- 各地区学連ポイント表作成担当者のグループを形成
- 各地区学連でポイント表作成⇒全日本学連&主管学連が集約⇒組み合わせシード決
- 東西インカレ・インカレ選手権大会を実施

※参加申し込み書類を改定（個人戦・団体戦・参加者名簿・参加費・Tシャツサイズを併記）

今後

- ・ポイントランキング「東西インカレ前」による【参加資格】とポイントランキング「東西インカレ後」による【シード決め】の区別を明記する。
- ・各地区がポイント（地区大会・インカレ・東西インカレ）を随時更新する。
⇒組み合わせ会議・常任委員会・総会で周知。
- ・組み合わせ会議で、「〇〇日時掲載の日本学生ポイントランキング表を使用」と明記
- ・インカレ⇒ポイントランキング表⇒シード自動割り振り は新たにポイントランキング表と割り振りソフトを作成する（浅見氏）⇒～来年度以降
※地区学連戦績を浅見氏に提出が必要

- ・今回は現行通りのシード組み合わせを主管学連が作成

- ・参加申し込み⇒ポイント⇒登録（日バ・全日・地区）⇔日バ登録確認システムのリンク

※今年度：日バ登録確認システム⇒日バが代行⇒参加申し込み紙媒体（会長印）は不要

※来年度に新システム導入

- ① 学連が日バ登録確認システムで「登録・審判」を確認する
⇒記入ミス・都道府県協会の未更新等の課題を整理是正する必要あり
 - ② 日バ登録確認システム：全日本学連⇒各地区学連まで使用するのは現状困難
 - ③ 協会：登録確認システム⇒学連&参加申し込み（ポイント制）⇒シード作成⇒登録確認の全てがリンクできれば来年度インカレから対応可能になる
- ・令和7年度大学対抗戦（団体戦）の組み合わせ基準が変更される

(10) 令和6年度東西インカレ：シード枠変更 (32→64)

- ・「組み合わせ基準変更」⇒総会（メール審議：全員賛成）

完了

(11) 加盟登録書類（大学名簿・登録名簿・加盟登録費納入表）の改訂

- 令和7年度から実施

未完了⇒令和6年度常任委員会 (2025.10.) (2025.11.)・総会で周知 (2025.2.)

(12) 令和7年度東西インカレ大会内容（令和8年度のプレ大会と定義している）

- 令和7年度東日本インカレ（東北学連主管）
⇒個人（S・D・XD；2種目選択）

⇒ (案1) 2会場・団体／個人別日程

(案2) 同一日程 (9日～10日 2会場) を並行して検討中

⇒ 令和7年度西日本インカレ (九州学連主管) の大会内容⇒同一日程 8～9日間

・団体戦：実施 ・個人戦 (XD)：実施 ・スパーシード：実施 (参加数による)

・大会内容：主管学連の判断による

・競技部：3種目選択比率アンケート実施

⇒タイムテーブルシミュレーション⇒コート数試算

完了：アンケート・シミュレーション

継続 ※大会案提示 ⇒総会 (2025.2.) まで

(13) 選手強化：強化合宿 (全日本総合・中堅選手育成強化)

・全日本総合合宿⇒トレセンを使用 (3か月前申込) ⇒コーチの確保&ローテーション。

完了 (中堅選手育成強化合宿)

※東日本：日体大；8月11日～13日・西日本：龍谷大；8月12日～14日

今後 場所の確保が課題・アンケートの実施

(14) スポンサー (ラクリ・専門店会)

進行中 ⇒インカレ Tシャツ (768枚；含予備)；予算@1,000円以下で発注 (全日本学連)

※選手権大会前日に会場届

(15) ①インカレ映像配信：

⇒大学対抗戦⇒Jスポ (日本協会)；B4以上⇒中止

※新規；ユニバス；準決・決勝 (協議中)；ユニバスカップのため無料

⇒選手権大会⇒S&N；B8～B16以上 (予定)

②東西インカレ：実施

⇒西日本インカレ：西日本国業大学 (井上先生)

⇒東日本インカレ：個人戦；準決決勝・団体戦；準決決勝

協議中&実施

4面・2日・スポンサーCM入

(16) 1種大会：要項・競技規則 (競技運営)・式次第・役員名簿等の記載内容

統一雛型

・東西インカレにも適用可能。

完了&進行中

(9) その他

・学生強化チーム編成 (今年度は「全日本総合参加選手」「来年度ユニバーシアード選考選手」を対象) ⇒海外遠征&国内合宿

継続

(10) スポンサー獲得⇒スポンサー選定

・契約書&スポンサー料受領：ラクリ・JCS

・部活メディア・他1；契約書&スポンサー料；進行中

完了&進行中

(11) インカレ経費：予算再配分

⇒組み合わせ会議主管負担分（2名まで）⇒各地区学連負担（現行大会時負担同様）に変更

⇒インカレ・東西インカレ：大会（現行）&組み合わせ会議⇒各地区学連負担

⇒【内規改正】⇒Web 総会（全員賛成）⇒HP 掲載

⇒インカレ予算再配分

⇒日バへの補助金申請（インカレ2大会分）

完了&確認

(12) インカレカップ：新調（男子団体）・大会名銘盤変更・優勝旗短冊新調（新大会名）

⇒メダル（日バ）・賞状・筒：確認；全日本学連

完了：発注；優勝旗短冊・MT 優勝杯・名盤変更・レプリカ；含東西；全日本学連

完了：横断幕：新調・郵送；全日本学連

(13) ユニバス参加：ユニバスカップ対象大会・動画配信・医療従事者費用補助

⇒ユニバス正式加盟（日本バドミントン協会）承認：2024. 5. 30.

⇒法人格取得が必須

⇒①全日本学生バドミントン大学対抗戦を対象⇒映像配信を実施。

⇒②医療従事者費用補助；保険適用資格（SSC 認証）取得が必須

①：協議中

②：認証取得に詳細項目回答が必要でかなり時間がかかる

⇒来年度以降の認証を目途に準備作業⇒保留

(14) 日バ対応：プロジェクトチーム（組織改革・規約改正；法人化がユニバス加盟条件）

⇒日バ；PT 組織編成内容了解

※作業中心は PM（運営本部委員）

※ユニバス（法律専門家）と PT 間の情報共有

※PT 結論（案）⇒全日結論⇒会長から日本協会に報告

⇒令和6年度中目途に結論

完了：情報収集；ユニバス・他団体⇒方向性確認；資料配布

PT:協議開始

・ユニバスから「一般社団法人定款：ひな形」が提示⇒法的に変更できない部分

・ユニバス及び他学連情報から学生が役員になるケースがない（役員登記の関係）

・8月からPTで協議開始

(15) 加盟・登録数対策：短期大学・省庁立大学校

・登録数減少対策；全国私立短大体育大会の廃止（2023年）

⇒短大生バドミントン部の掘り起こし

⇒〇〇大学短大部・同一法人〇〇短大の大学併合加盟登録を可能にする

・省庁立大学校⇒規約改正⇒文科省への対応？

- ・規約改正の文言表現：混乱を避けるため、**実態に即した内容にする必要性**がある。
⇒（例）組織体が同一である事、且つ常時合同で練習が可能な相互のキャンパス環境である事等。
- ・省庁立大学校に関しては文科省への打診が必要か？
- ・実態を調査して既存の団体を削除する場合もある。
- ・⇒令和6年度中対応：【規約改正】⇒常任委員会・総会（2025. 2.）⇒HP 掲載

未完了

常任委員会（2024.10.）～総会（2025.2.）

(16) ポイント制導入に伴う**申込締切&組み合わせ会議&大会の日程変更⇒来年度**。

- ・全日本インカレ（対抗戦・選手権大会）【日程？】
- ・東西インカレ【日程？】

-
- ・今年度のポイント制導入による参加申込締切⇒ポイントランキング表作成
⇒トーナメントシード作成（主管）⇒組み合わせ会議⇒大会実施までの作業進捗状況を参考に改めて協議。 ⇒各作業間の日程を短縮できる可能性高い
⇒令和6年度対応：【規約改正】⇒常任委員会・総会（2025. 2.）⇒HP 掲載
-

未完了

・常任委員会（2024.10.）～総会（2025.2.）

議事録署名人：

全日本学連会長 北見正伸
全日本学連総務部長 平野泰宏